

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-330460 (P2005-330460A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-047
 【出願番号】特願 2004-317829 (P2004-317829)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

顔料と、水およびエタノールに対する溶解度が 25 で 3 重量%未満である高分子化合物と、有機溶媒とを少なくとも含む油性顔料インク組成物において、有機溶媒として、引火点が 55 ~ 120 、沸点が 170 ~ 250 の範囲にあるジプロピレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、トリプロピレングリコールモノアルキルエーテルモノアルキルエステル、ジプロピレングリコールジアルキルエーテルおよびプロピレングリコールジアルキルエステルの中から選ばれる少なくとも 1 種の (ポリ) プロピレングリコール誘導体を全インク組成物中 40 ~ 90 重量%含み、上記の高分子化合物として、アクリル系樹脂、ポリエステル系樹脂、ポリウレタン系樹脂、塩化ビニル系樹脂よりなる群より選ばれる少なくとも 1 種の樹脂を含み、この樹脂の重量平均分子量が 5,000 ~ 100,000 であることを特徴とする油性顔料インク組成物。